

株式会社エルム



- 所在地：鹿児島県
- 従業員：48名
- 会社設立年：1980年
- 事業内容：電子応用機器受託開発設計、産業用省力化機械設計

<https://www.elm.jp/>

プロジェクト名

- コンテナ型栽培システム「エコナーセリー®」を活用したブルネイにおける温帯野菜の栽培技術の開発

現地企業や政府との協力・連携

- 現地パートナー：SUPERFISH GROWERS SDN BHD
- 協力・連携の内容：穀物、果物の生産、販売、輸出



播種後はロボットが自動搬送 → 効率的なレシピで苗を育成 → 健苗を圃場に移植し栽培

現地の経済・社会課題

- ブルネイ国民が消費する野菜の42.2%は温帯野菜であるが、その多くを輸入に依存。
- 高温多湿で多雨の厳しい環境をコントロールする栽培技術を確立し、高価値の野菜類の国内生産を促進することが、食料安全保障、国民生活の質向上の観点で課題。

実証内容

- コンテナ型栽培システムエコナーセリー（ENシステム）を導入し、熱帯のブルネイで温帯性作物の栽培技術を考察・実証する。
- 屋内水耕栽培システム等は高価であり、一農家による調達は困難だが、ENシステムは、栽培に必要な機材がコンテナ内に全て備わっており、投資コストを抑え、短期間での導入が可能。また遠隔操作での環境制御も可能。

期待される裨益効果

- ブルネイ農業局が掲げる高効率・高品質生産、輸出促進という目標を実現し、中長期的な国家計画実現に裨益できる可能性。
- 「デジタル農業」という新産業分野の創出、および若者の雇用促進も期待できる。